

令和6年度 第2回名取市社会教育委員の会議概要記録

○日時	令和6年11月13日(水) 13時30分～14時40分
○場所	仙台法務局名取出張所2階 会議室4
○出席者(7名)	菊池 晃子委員、菅原 朋美委員、和栗 幸一委員、久米 智美委員、金野 智津委員、鈴木 雅行委員、齋藤 勇介委員
○欠席者(3名)	伊藤 恵子委員、入間川 徹委員、本郷 一浩委員
○事務局出席者	教育長 瀧澤 信雄 教育部長 齋藤 正光 生涯学習課 課長 佐藤 徹也 課長補佐兼係長 菊地 栄一 公民館係長 柳館 麗美 図書館長 加藤 孔敬
○傍聴人	なし

会 議 概 要

会議に先立ち、本日机の上に置いた生涯学習推進協議会の任期満了に伴う委嘱状の交付について案内。任期について、令和6年11月1日から令和8年10月31日までの2か年で、第2回目の会議は来年1月下旬を予定している旨説明。

1 開 会 進行：菊地課長補佐

2 あいさつ

瀧澤教育長

社会教育委員の皆様には忙しい中お集まりいただき感謝する。1か月前に上山市の子ども達との海の子山の子交歓会の名取会場を実施した。例年だと8月のお盆明けだったが、今年は暑くてSUPの活動が中止になったりして、今年は話し合いのうえ秋の開催に決まった。両市から24名ずつの小学生が集まり交流をした。次回は2月に山形県の坊平高原でスキーを中心とした交流を行う。また、土日公民館まつりが盛んに行われている。地域の方々の繋がりが深まるような光景をたくさん目にしている。名取市で作成した生涯学習振興計画の基本方針は、「学びから学び合い、そしてふるさと愛」を掲げているが、まさに様々な事業を取組の中で多くの方が学び、学びの輪が広がっていくのを色々な場面で感じているところである。本日は上半期の社会教育に関する取り組みについて報告をさせていただく。皆様から忌憚のないご意見を頂戴したい。

鈴木議長

先日、名取市のホームページを見たら、今年も住みよさランキングの東北北海道で1位であった。名取市の評価は、住みよい街として街がコンパクトで自然が多い、人と人の距離が近く満足しているとか、スーパーなどの立地条件がよく言われるが、今日の会議に関係する分野を去年と今年のデータで調べてみたら、子育てに関して子育ての体育文化活動が約200から300くらいある自治体の中で16位であった。かなりすごいと思う。教育機関が充実しているという項目は去年8位で今年3位。生活インフラのところでは、生涯学習のプログラムでは去年37位だったのが今年7位である。これは社会教育の頑張りだと思う。自治体の運営で多様な地域の参加機会があるというのが去年は6位で今年18位であった。確認したら366自治体あるそうである。その中でもこの順位なのですごいことだと思う。自治体からの情報発信は去年3位だった。今年42位だ

令和6年度第2回名取市社会教育委員の会議 令和6年11月13日(水)

が、ほかの自治体も時代の要請に従って情報発信に取り組んでいるということでこの順位だと思
う。順位は一つの指針で順位にこだわるわけではないが、関係する方々のアイデアや活動が認め
られてこのような形になっているのかなとデータを読ませていただいた。人口減少の時代に入っ
ていく中、社会教育が果たす役割というのはますます重要になってくると思う。本日はよろしく
お願いしたい。

会議成立の確認

名取市社会教育委員会議規則第5条第1項により、委員過半数の出席を確認し会議成立を宣言。

会議公開の確認

名取市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開の対象となる旨を告げる。
傍聴席を設けていたが、本日の傍聴者はなし。非公開の議事は予定していないが、非開示情報
が含まれる内容となった場合、会議に諮り決定していくことを告げた。

3 議 事

名取市社会教育委員会議規則第3条第2項により、鈴木議長が議長となり議事進行。

(1) 報告事項

令和6年度上半期事業報告について

資料1により各担当から説明。

＜説明員＞	生涯学習・青少年係	菊地補佐兼係長
	公民館係	柳館公民館係長
	図書館	加藤館長

鈴木議長

生涯学習から順を追って委員の皆様のご意見等を頂戴したい。(講師である)斎藤委員、インリ
ーダー研修会ではどういった活動をされたのか。

斎藤委員

ジュニアリーダーの活動と保護者の研修は別々に行われていたが、子ども達の方は、声を聞く
限りでは盛り上がっていたようだ。その声を聞きながら保護者の方々とワークショップやお話を
させていただいた。参加した方々からは、有意義な時間になったという感想を直接いただいた。
子ども達は意欲的に活動していたが、保護者の方々からは実際に足を運んでみればすごくいい機
会だから広く参加して欲しいと思うけれど、取っ掛かりとしてPTAの役員さんが何名か行かな
ければならないというような負担感があるので、そこがうまくいけばいいと言っていた。参加ま
での一步を踏み出すアイデアが次の課題だと感じた。

菊地課長補佐

タイトルがインリーダー子ども会育成者合同研修会ということで、子供会の担当になった方、
役員になった方が行かなくてはいけないという節があり、タイトルがよくないのかと思うところ
もある。気軽に子どもを持つ親として参加していただけるような形になっていけば地域の皆さん
が気軽に参加できるのかと思う。以前は学校にお願いして人数を集めていたようで、今は生涯学
習課で働きかけている。人数集めが課題である。

和栗委員

尚絅学院大学のプラザでの講座人数が急激に増加したが、集める方法はあったのか。

菊地課長補佐

今年から新たに取り組んだことに関して、市民体育館での健診時に、受付に事業のパンフレットを置いて周知した。コロナも5類になり、市民の方の意識として講座などに足を運びやすくなっていると感じる。今年度よりまなびパスポート事業に尚絅学院大学も対象にしたので一因としてあるのかと思う。

鈴木議長

金野委員さん、(市民大学で)尚絅学院大学さんに関わっていただいているが、学生ではなく一般の方々へ教える難しさ、楽しさなどはあるか。

金野委員

住民の方とやり取りできる場所は教員にとってもありがたいと感じている。

鈴木議長

次に、公民館の利用についての報告についてご意見いかがか。

金野委員

社会教育団体さんの利用が多いということだったが、具体的にどのような内容なのか教えていただきたい。

柳館係長

普段の公民館で使われている愛好会やサークル活動などそういった分野での使い方が多いかと思う。これまでコロナでなかなか集まれなかったが、昨年からどんどん伸びてきていて、さらに伸びがかかっている状況である。

斎藤委員

公民館事業報告の中で、球技大会やモルックやボッチャなど、どの世代の方々でもできるようなものを取り入れていて多世代交流に繋がってきていると思う。私のところのゆりが丘、みどり台地区では、新春のつどいを今までの飲み会形式からコロナを機に子ども達が遊べるようなコーナーを設けたりしたところ、今ぐらいの時期から新春のつどいを楽しみにしているという声が20代30代の保護者の方から聞こえてきたのは、幅広い世代が公民館に足を運びきっかけになっているなどと思う。下増田公民館は児童センターとの合築で一緒になっているが、その利点は地域のサークルさんが子ども達にも声をかけて一緒にやっていたりして、自然の流れの中で、そこが利用人数の増加だったり多世代交流に繋がっていると見ていた。公民館を含め、地域の方の努力があつてのことだと思う。

和栗委員

うちもゆりが丘を参考にした。1月に新春のつどいがあるが、お酒をやめて地域住民が誰でも参加できるようにしようと変えた。準備最中だが、やり方がわからず試行錯誤している。

柳館係長

ただいま斎藤委員からいただいた話で、多世代交流事業として今年は11公民館で取り組んでいる。記載している多世代交流事業の中で取り組んでいる公民館について一部お知らせする。増田公民館については「歩け歩け大会」を多世代交流事業として行っている。こちらの事業はすでに終わっているが、スタッフ、見守りの方々で若い方の参加者を取り入れて子供25名、大人149名で、大人の参加者でいつも埋まる所をお子さんにも参加していただき、ご家族での参加もあった

という状況である。

鈴木議長

子どもというのはどのあたりのゾーンを想定しているのか。

柳館係長

具体的な内容は聞いていない。小中学生を対象にするのではないかと思う。

鈴木議長

社会教育の方から聞くと、小学生は大丈夫だけれど中学生となると部活があるのでなかなか参加が難しいようである。そこをどうやって崩していくのが課題と言っていた。中学生も地域にいながら学校生活もとなると難しいのかなと思った。菊池委員、中学生は忙しいのか。

菊池委員

本校でも地域の中で育ててもらっているという話はさせていただいている。部活だけではなく、地域の活動に参加して学ぶものもあるのではないかと感じている。本校でやっていただいた、命のバトンふれあい講座の広域連携事業はとても好評だった。中学1年生の生徒が対象だが、生徒の感想を見てみると命の大切さや知らないことを丁寧に教えてもらったとたくさん書いてあったので、こういった事業をやらせてもらえてありがたいと思う。

斎藤委員

中学生のお子さんは積極的にイベントに参加してくれている。先日、増田児童センターで実施したおばけ屋敷には、増田中学校の生徒が45名実行委員で入ってくれた。中学校の皆さんが力になってくれている。

鈴木議長

他にいかがか。異議がないようなら、原案のとおり承認ということでよろしいか。原案の通り承認された。次に(2)その他、事務局から何かあるか。

菊地課長補佐

次回開催は、年明け1月下旬を予定している。本日委嘱させていただいた協議会も併せて開催したい。日程が決まったらお知らせしたい。

鈴木議長

以上で議事を終了する。円滑な議事運営に協力いただき感謝する。

菊地課長補佐

最後に、議長代理である斎藤委員より閉会の挨拶をいただきたい。

斎藤委員

上半期の各事業を見させていただき、年々ブラッシュアップされて色々な視点で魅力ある活動環境が育まれているなど感じている。こういったものをより地域に広めていって交流を深めながら生涯学習に繋げていければと感じた。

菊地課長補佐

以上をもって、令和6年度第2回名取市社会教育委員の会議の一切を終了する。

5 閉 会

14:40 終了

以上